会報　高鷲の文化財
第８３号
令和６年１０月１６日発行
高鷲文化財保護協会
題字：麦島　博昭　氏

郡上市指定史跡　『奥の宮』

奥の宮は平成 15 年 12 月 11 日に，高鷲村文化財史跡に指定された。平成 5 年 3 月発行の「高鷲村の文化財」には指定外史跡と記述してあるが、平成 16 年 3 月のの郡上市誕生前までの、高鷲村として最後の文化財行政であった。奥の宮の由緒には高鷲村史の記述から引用して筆者が口語訳し、それを記す。

祭神：伊弉諾尊、伊弉冉尊、菊理姫

由緒：養老年中に泰澄が越前の白山に登山の際、鮎走村の助左衛門という者の宅にお泊まりになり、その時、泰澄に助左衛門が帰依し，暫く宿泊なされたのを幸いに、白山の近くのこの所を宮地として神社を創建された。すなわち、口宮と奥宮ならびに七堂伽藍を建立し、白山三山の尊像を安置した。助左衛門は奥宮の別当として但馬と改名した。

現在の奥の宮跡

泰澄が白山登山の時、鮎走村から北へ 30 町(約 3.3km)離れた坂道で大日ヶ岳を拝し、その坂を御幣坂と名付け、またこの坂より越前の白山を拝し、尾根を通って白山に登る。この道の案内者は助左衛門である。奥の宮は鮎走村をはじめ芥見の庄５ヶ村の氏神として永禄元(1558)年社殿を焼失し、社領は天正の頃鷲見氏より 30 石を寄付されましたが、天正時代の戦乱で鷲見氏は滅亡して、社殿を焼失した。

その後、延宝 7(1679)年に遠藤氏が定米 3 斗 4 升を社領として寄付された。正徳元(1711)年 5 月になって社殿等を再建して、これを奥の宮と言った。

本殿：縦 1 間 3 尺(約 4m)、横 1 間 3 尺(約 4m)

拝殿：縦 3 間 3 尺(約 10m)、横 3 間(約 9m)

境内坪数：1696 坪(508,800 平方 m)

氏子：東前谷、鮎走、正ヶ洞、中切、穴洞村の 180 戸

明治 41 年奥の宮は堂ヶ洞白山神社(口の宮)に合祀され廃宮となった。

平成 5 年 3 月発行の「高鷲村の文化財」には指定外史跡と記述してあり、七堂伽藍には神仏両方の社僧と別当、神主を置き、毎年旧暦の 8 月 18 日に例祭を行っており、一時は繁栄を極めていたと記してある。また永禄年間に社殿を焼失したとも記してある。なおこの由緒書に記してある「奥の宮は鮎走村をはじめ芥見の庄５ヶ村の氏神として」は東前谷、鮎走、正ヶ洞、中切、穴洞の五ヶ村としている。

高鷲文化財保護協会では、平成 29 年 5 月 17 日(水)に奉仕作業(参加者 18 名) として『奥の宮清掃』を行っている。その時の記事は『会報　高鷲の文化財』26 号で報告した。

郡上市指定史跡『鷲見の立石』

鷲見の立石

鷲見の立石について,高鷲村史 800 頁に書いてある記事を引用する。

「すみの立石は霊岩ともいって鷲見地区字鷲ヶ岳の麓ワサビソの近くにある。里人は山の神様としその近傍へは決して近づけない。天明の頃(1781 年頃)郡上藩の儒者江村北海という学者があったが、その人もここまで来たのか、その著『濃北紀遊』に「有霊鷲岩弧峯特立三十丈奇秀無比赤松翠柏、不仮寸土而生茂隼●常巣其上」とあり、昔から世に聞こえていたことが分かる。昔人は山に『山の神』があって樵夫など山人を守り、春になるとその神が田園に来て農耕の業を守ってくれると信じ、樹木の生い茂るのも作物が実るのも神の恩恵と考えていたので農山村では山の神の信仰が強かった。

この立石は長滝白山神社にある「みこと岩(彦火火出見命)」と同じく往古の自然崇拝の遺跡である。そしてこの立石の神秘を一層高めるものは、あたり一帯に生い茂っている白樺その他のうっそうとした樹林である。

奉仕作業：郡上 市史跡「立石清掃」

平成 24 年 5 月 23 日 (水)「鷲見の立石(霊鷲岩)」にて実施

立石の清掃作業風景

高鷲町文化財保護協会は同町鷲見地区の郡上市指定史跡である「鷲見の立石」周辺を清掃した。同史跡は鷲ヶ岳登山道の途中にあり、雑木・雑草の繁茂がひどく、史跡である巨石がある場所が、道路から判別できない状態であった。23 日は朝から雲一つない快晴で、会員参加者 23 名が風薫る初夏の一日を、汗を流しながら奉仕活動を行った。草刈り機、鎌、鋸やチェンソーを各家庭から持ち寄り、密林状態になっていた史跡周辺の清掃を行った。

「鷲見の立石」は古くから自然崇拝の一つである巨石信仰の遺跡で、鷲見地区の人たちは、山の神様として畏敬しその近傍へ決して不浄を近づけないとしていた。

高鷲文化財保護協会からのお知らせ

1．高鷲ふるさと祭への協力出展　たかす町民センター
令和 6 年 10 月 20 日(日)10：00 ～ 15：00　「鷲見郷と白山登山写真展」

2，高鷲文化財保護協会主催『県外視察研修』
令和 6 年 11 月 5 日(火)　8：00 高鷲庁舎前集合　17：00 帰着
「福井の永平寺と朝倉一乗谷遺跡」　参加費 2000 円(施設入館料)　昼食自己負担